

## 参加お申し込み方法

セッションごとに、はがき・FAX・インターネットにてお申し込みください。

### はがき

官製はがきに、ご希望の会議名を明記し、氏名、住所、電話番号、FAX 番号をご記入の上、各セッションの連絡先事務局宛にお送りください。

### インターネット

下記アドレスにアクセスの上、10月15日[金]より、ホームページ内お申し込みフォームよりお申し込みください。  
www.bunka.go.jp/culturalforum

### FAX

下記の一覧の申し込み欄に☑をつけ、下記必要事項欄にご記入の上、各セッションの連絡先事務局宛に本紙をそのまま FAX してください。

#### 申し込み締め切り

福岡セッションは11月11日(木)まで、東京セッション・奈良セッションは11月15日(月)までとなります。下記一覧をご参照ください。

#### 参加証の発送

各セッション開催までに「参加証」(はがき)をお送りいたします。先着順の受付となります。定員に達し次第、締め切りとさせていただきます。

## 文化庁 第8回 国際文化フォーラム 2010

## FAX 申し込み用紙

申込	会議名・日程	連絡先事務局	問い合わせ TEL	申し込み締切日
<input type="checkbox"/>	<b>■東京セッション</b> <b>「東アジアにおける文化の多様性」</b> ●11月27日(土) ●東京国立博物館 平成館 大講堂	〒150-0047 東京都渋谷区神山町5-5 NRビル 第8回国際文化フォーラム事務局 (NHK プロモーション内)	<b>03-5790-0888</b> (平日10:00~18:00)	<b>11月15日(月)</b> はがき消印有効 FAX・インターネット 必着
<input type="checkbox"/>	<b>■奈良セッション</b> <b>「映画と東アジア」</b> ●12月4日(土) ●奈良県新公会堂 能楽ホール	〒630-8501 奈良県奈良市登大路町30番地 奈良県地域振興部文化観光局 文化課文化振興係 担当: 森本	<b>0742-27-8478</b> (平日9:00~17:00)	<b>11月15日(月)</b> はがき消印有効 FAX・インターネット 必着
<input type="checkbox"/>	<b>■福岡セッション</b> <b>「文化観光の可能性」</b> ●11月18日(木) ●九州国立博物館 ミュージアムホール	〒812-8577 福岡県福岡市博多区東公園7番7号 福岡県新社会推進部 県民文化スポーツ課 担当: 宮本	<b>092-643-3383</b> (平日9:00~17:00)	<b>11月11日(木)</b> はがき消印有効 FAX・インターネット 必着

ふりがな		電話番号	
氏名		FAX番号	
所属機関		E-mail	
住所	□□□-□□□□		

※記載いただいた個人情報については、ご本人の同意なく、本来の目的以外で利用することはありません。また、個人情報を事前の告知なく他の業者・機関等に提供することはありません。

### 第8回 国際文化フォーラム事務局

〒150-0047 東京都渋谷区神山町5-5 NRビル  
 TEL:03-5790-0888 (平日10:00~18:00/土・日・祝を除く) FAX:03-5790-0308  
 E-mail: infowcf2010@nhk-p.co.jp  
 ホームページ: www.bunka.go.jp/culturalforum

※プログラムに関する事項は、予告なしに変更する場合があります。

#### 問い合わせ先

Mutual inspiration and potential in East Asia

文化の多様性と東アジア  
 Cultural Diversity and East Asia

文化庁 第8回 The 8th World Cultural Forum 2010  
 in Tokyo, Nara & Fukuoka

国際文化フォーラム

参加費無料  
 事前応募制

主催: 文化庁 / 日本経済新聞社 / NHK /

関西元気文化圏推進協議会 / 九州・沖縄文化力推進会議



# 文化庁 第8回 The 8th World Cultural Forum 2010 in Tokyo, Nara & Fukuoka

# 国際文化フォーラム



第8回国際文化フォーラムでは、「文化の多様性と東アジア」をテーマに、国内外の著名な文化人・芸術家が世界の文化に関する様々な分野における最新の状況や課題などについて、世界的視野で討論・対話を行います。また、本フォーラムを通じて世界に向けて文化のメッセージを発信し、日本文化を広く伝えることを目的としています。

The 8th World Cultural Forum features people from different parts of the world renowned for their artistic and cultural achievements who will participate in discussions and dialogues on the latest situations of and issues concerning various genres of culture with an international perspective under the title of “Cultural Diversity and East Asia”. The Forum aims at disseminating cultural messages to the world while bringing knowledge of Japanese culture to wider audiences through those discussions and dialogues.

## 東京セッション 「東アジアにおける文化の多様性」

日本においても世界においても重要な地域となる東アジアに向けた政府の積極的な取り組みがなされているが、東アジアは欧州とは異なり、多様な宗教や文化が存在し、経済発展段階もまちまちである。本セッションでは、日中韓の有識者に加え、ASEAN統合を推進している連合事務局の代表、欧米の有識者を招き、日中韓における文化交流の取り組みやASEANの経験を振り返り、また欧米の視点も交えながら、文化の多様性を活かしつつ東アジアにおける文化交流のより積極的な発展をめざし、東アジア地域の連携をますます深めていくために何が必要であり、21世紀に入ってから映画、音楽、ファッション等を通じて東アジアの現代文化圏の形成が進む中で、各国が、日本が、何を行っていくべきかを議論する。

■平成22年11月27日[土]13:30～17:30  
■東京国立博物館 平成館 大講堂 [定員350名]  
参加費無料・事前応募制 (日英中韓の同時通訳がご利用できます)

- 基調講演 「東南アジア諸国連合形成と文化交流の役割 (仮)」  
スリン・ピッスワン (ASEAN (東南アジア諸国連合) 事務総長)  
「東アジア現代文化圏の形成」  
青木 保 (青山学院大学大学院総合文化政策学研究所特任教授、元文化庁長官)
- 座談会 [座長] 青木 保 (青山学院大学大学院総合文化政策学研究所特任教授、元文化庁長官)  
[パネリスト] 近藤 誠一 (文化庁長官)  
王 暁秋 (北京大学歴史学科教授／中国)  
ユ・インチョン (韓国文化体育観光部長官／韓国)  
スリン・ピッスワン (ASEAN (東南アジア諸国連合) 事務総長)  
ヌール・ヤルマン (ハーバード大学人類学名誉教授・シニアフェロー／トルコ)  
ハンス・ゲオルグ・ゼフナー (ドイツ社会学会会長／ドイツ)

## 奈良セッション 「映画と東アジア」

2010年のカンヌ映画祭では、タイのアピチャッポン・ウィーラセータクン監督による「ブンミおじさん」がグランプリを獲得した。日本映画は、「おくりびと」が2009年に米アカデミー賞外国語映画賞を、「殞の森」が2007年にカンヌ映画祭でグランプリを受賞したほか、多くの作品が海外で高く評価されている。また、「韓流」映画や中国映画も世界各国で人気を博しており、東アジア諸国の映画に対する世界の評価は高い。本セッションでは域内・域外を問わず高く評価されるようになってきている「東アジア映画」を通じて、どのように東アジア諸国の相互理解を深め、東アジア的価値を他地域に発信していくか、また、東アジア域内での共同制作や映画関係者の交流深化を通じた「東アジア映画圏」構築は可能か、また、これらの取り組みが「東アジア文化圏」の構築にどのように寄与するかの、といった点について、東アジア地域内外の映画関係者、有識者を招いて討論する。

■平成22年12月4日[土]13:30～17:00  
■奈良県新公会堂 能楽ホール [定員350名]  
参加費無料・事前応募制 (日英中韓の同時通訳がご利用できます)

- 基調講演 佐藤 忠男 (映画評論家、日本映画学校校長)
- 座談会 [座長] 佐藤 忠男 (映画評論家、日本映画学校校長)  
[パネリスト] 河瀬 直美 (映画作家)  
ジャ・ジャンクー (映画監督／中国)  
イム・グォンテク (映画監督／韓国)  
アピチャッポン・ウィーラセータクン (映画監督／タイ)  
フィリップ・チア (映画評論家／シンガポール)  
タンビール・モカンメル (映画監督／バングラデシュ)

## 福岡セッション 「文化観光の可能性」

我が国は、長い歴史に根ざした伝統文化や漫画・アニメに代表される現代文化など、多様な文化資源を有しているが、これらの文化資源は観光促進にも活用しうるものとして注目されるようになってきている。中国や韓国をはじめとする東アジア諸国からは我が国に多くの観光客が訪問しているが、映画やテレビ・ドラマで舞台となった土地を訪問するなど、観光に資する文化資源の在り方自体も多様化している。このような現状を踏まえつつ、本セッションでは美術館・博物館、文化財、パフォーマンスアート、祭り等の伝統文化やポップカルチャー等の現代文化、また、映画やドラマの舞台といった新たな文化資源を活用した観光促進方策について、関係分野の有識者による議論を行うことにより、観光振興に資する文化発信の在り方について考える機会とする。

■平成22年11月18日[木]13:30～17:00  
■九州国立博物館 ミュージアムホール [定員200名]  
参加費無料・事前応募制 (日英中韓の同時通訳がご利用できます)

- 基調講演 田中 浩二 (前九州観光推進機構会長、九州旅客鉄道株式会社相談役)
- 座談会 [座長] 三輪 嘉六 (九州国立博物館長)  
[パネリスト] 田中 浩二 (前九州観光推進機構会長、九州旅客鉄道株式会社相談役)  
高田 知仁 (タイサイアム大学教養学部 ホテル・観光学講師)  
王 軍 (中国文物交流中心主任／中国)  
ユ・ビョンハ (公州博物館長／韓国)  
ジェームス・トーマス・ユラック (スミノニアン協会フリーア・ギャラリー、アーサー・M・サックラー・ギャラリー-日本美術シニアキュレーター／米国)

【参加行事等】文化庁第8回国際文化フォーラムと同時期に開催している行事で、フォーラムの趣旨に賛同している行事です。一般参加が可能です。

東京	現代工芸への視点―茶事をめぐって	9/15 (水)～11/23 (火・祝)	東京国立近代美術館工芸館
	没後120年 ゴッホ展	10/1 (金)～12/20 (月)	国立新美術館
	光明皇后1250年御遠忌記念 特別展 「東大寺大仏一天平の至宝―」	10/8 (金)～12/12 (日)	東京国立博物館平成館
	文化庁芸術祭協賛 国立劇場 11月歌舞伎公演「通し狂言 国性爺合戦」	11/3 (水・祝)～11/26 (金)	国立劇場大劇場
	文化庁芸術祭協賛 狂言の会 福の神／止動方角／政頼	11/26 (金)	国立能楽堂
	文化庁芸術祭協賛 11月特別企画公演 五代目三遊亭圓楽追悼記念 五代目圓楽一門会	11/26 (金)～11/28 (日)	国立演芸場
	文化庁芸術祭協賛 国立劇場 11月舞踊公演「舞の会―京阪の座敷舞―」	11/27 (土)	国立劇場小劇場
	文化庁芸術祭協賛 新国立劇場バレエ公演 アシュトンのシンデレラ	11/27 (土)・28 (日)・12/1 (水)・3 (金)・4 (土)・5 (日)	新国立劇場 オペラ劇場 (オペラハウス)
	企画展「日々のくらし」―子育ての民俗―	9/18 (土)～11/23 (火・祝)	奈良県立民俗博物館
	福原考古学研究所附属博物館開館70周年記念 秋季特別展「奈良時代の匠たち―大寺建立の考古学―」	10/2 (土)～11/21 (日)	福原考古学研究所附属博物館
関西	ナポリ・宮廷と美 カポディモンテ美術館展 ルネサンスからバロックまで	10/9 (土)～12/5 (日)	京都文化博物館
	特別展「いのりのかたち～祈願の民具と民間信仰～」	10/9 (土)～12/5 (日)	和歌山県立紀伊風土記の丘
	秋季特別展「那馬台国―九州と近畿―」	10/9 (土)～12/12 (日)	大阪府立弥生文化博物館
	名品展「珠玉の仏たち」	10/9 (土)～12/19 (日)	奈良国立博物館 なら仏像館
	飛鳥資料館開館35周年記念 平城遷都1300年祭 秋期特別展「木簡黎明―飛鳥に集う いにしへの文字たち」	10/16 (土)～11/28 (日)	奈良文化財研究所 飛鳥資料館
	日本磁器ヨーロッパ輸出350周年記念 「パリに咲いた古伊万里の華」	10/16 (土)～2011年1/10 (月・祝)	兵庫陶芸美術館
	誕生100年特別展 一白洲正子 神と仏、自然への祈り	10/19 (火)～11/21 (日)	滋賀県立近代美術館
	京都国際舞台芸術祭2010「KYOTO EXPERIMENT」	10/28 (木)～11/23 (火・祝)	京都芸術センター 他
	文化庁芸術祭主催 文楽錦秋公演	10/30 (土)～11/21 (日)	国立文楽劇場
	新 incubation2「ステラーク×コンタクト ゴンゾ BODY OVERDRIVE」	10/30 (土)～11/28 (日)	京都芸術センター

## TOKYO Session Cultural Diversity in East Asia

The Japanese government has recently been actively engaging with East Asia, a region that has special importance for Japan, and for the world as well, but one that, unlike Europe, is home to a diversity of religions and cultures, and societies at different stages of economic development. Against this backdrop, influential cultural figures from Japan, China and Korea will be joined by an expert on ASEAN integration and experts on social and cultural issues from the USA and Europe to review cultural exchange activities between Japan, China and Korea together with the experiences of ASEAN and to engage in a discussion, incorporating American and European viewpoints, of what the needs are and what active measures individual countries, especially Japan, should be taking for further development of cultural exchange in East Asia and for strengthening regional linkages while maintaining cultural diversity, when, since the beginning of the 21st century, the East Asian contemporary cultural zone has continuously been shaped by film, music, fashion and other forms of contemporary culture.

Saturday, November 27, 2010 13:30 - 17:30  
Tokyo National Museum Heiseikan Auditorium [Capacity: 350 Seats]  
Admission free/Pre-registration required  
Simultaneous interpretation available between Japanese to English, Chinese, and Korean

- Keynote speech “Formation of Association of Southeast Asian Nations and Role of Cultural Exchange(TBC) Surin PITSUWAN Secretary-General, Association of Southeast Asian Nations (ASEAN) “Formation of the East Asian contemporary cultural zone” AOKI Tamotsu (Japan) Special University Professor, Graduate School of Cultural and Creative Studies, Aoyama Gakuin University / Former Commissioner for Cultural Affairs
- Panel Discussion [CHAIR] AOKI Tamotsu (Japan) Special University Professor, Graduate School of Cultural and Creative Studies, Aoyama Gakuin University / Former Commissioner for Cultural Affairs [PANELIST] KONDO Seiichi (Japan) Commissioner for Cultural Affairs  
WANG Xiaohu (China) Professor, Department of History, Peking University  
Yu In-Chon (Republic of Korea) Minister of Culture, Sports and Tourism  
Surin PITSUWAN Secretary-General, Association of Southeast Asian Nations (ASEAN)  
Nur YALMAN (Turkey) Professor of Social Anthropology and Middle Eastern Studies, emeritus, Senior Fellow, Society of Fellows, Harvard University  
Hans-Georg SOEFFNER (Germany) Prof. em. Dr., Senior Fellow, President of the German Sociological Association

Saturday, December 4, 2010 13:30 - 17:00  
Nara Prefectural New Public Hall Nougaku Hall [Capacity: 350seats]  
Admission free/Pre-registration required  
Simultaneous interpretation available between Japanese to English, Chinese, and Korean

## NARA Session Cinema and East Asia

Thai film director Apichatpong Weerasethakul won the 2010 Cannes Film Festival Palme d’Or prize with his “*Uncle Boonmee Who Can Recall His Past Lives.*” A number of Japanese films have also received international acclaim: “*Departures*” for example, won the 2009 Academy Award for Best Foreign Language Film and “*The Mourning Forest*” won the Grand Prix at the 2007 Cannes Film Festival. Korean and Chinese movies are also gaining popularity around the world. East Asian cinema truly is gaining international recognition. Members of the film industry and influential cultural figures from within and outside the East Asian region will discuss such matters as how we can deepen mutual understanding among the East Asian countries and disseminate East Asian values to other regions; whether it is possible to establish an “East Asian Film Zone” through such efforts as the international co-production of films and the enhancement of personal exchanges between those involved in film making in the region; and how such efforts can contribute to the establishment of an East Asian cultural zone, through the medium of East Asian films, which have recently been highly acclaimed in and beyond the region.

## FUKUOKA Session Cultural Tourism Potential

Japan has a multitude of cultural resources ranging from traditional culture with a long history through to the culture of our modern times, including *manga* and *anime*. These cultural resources are now gaining attention as something with a role to play in the promotion of tourism. Japan has been visited by a number of tourists from China, Korea and other East Asian countries, for whom visiting locations featured in films and television series is one of the attractions of their trip. As this demonstrates, the nature of cultural resources that can contribute to tourism is diverse. Against such a background, a discussion will be held among influential figures covering a range of tourism promotion strategies, involving such cultural resources as art galleries, museums, cultural heritage, performing arts, festivals and other traditional cultural events, and modern cultural content including pop culture, as well localities featured in film or TV series. In this way the session will provide an opportunity for considering how culture can be disseminated in ways that contribute to the promotion of tourism.

Thursday, November 18, 2010 13:30-17:00  
Kyushu National Museum Museum Hall [Capacity: 200seats]  
Admission free/Pre-registration required  
Simultaneous interpretation available between Japanese to English, Chinese, and Korean

- Keynote speech TANAKA Koji / Former Chairman, The Kyushu Tourism Promotion Organization / Senior Adviser, Kyushu Railway Company
- Panel Discussion [CHAIR] MIWA Karoku (Japan) Director, Kyushu National Museum [PANELIST] TANAKA Koji Former Chairman, The Kyushu Tourism Promotion Organization / Senior Adviser, Kyushu Railway Company  
TAKATA Tomohito (Japan) Lecturer, Hotel Studies and Tourism Department, Faculty of Liberal Arts, Siam University, Thailand  
WANG Jun (China) Director, Art Exhibitions China  
YOO Byung-ha (Republic of Korea) Director, Gongju National Museum  
James Thomas ULAK (USA) Senior Curator of Japanese Art, Freer Gallery of Art and the Arthur M. Sackler Gallery, Smithsonian Institution

関西	中路融人 展	10/30 (土)～12/24 (金)	奈良県立万葉文化館
	上村松園 展	11/2 (火)～12/12 (日)	京都国立近代美術館
	特別企画展「百舌鳥古墳群 ―その出土品からさぐる―」	11/14 (日)～2011年1/23 (日)	堺市博物館
	平城遷都1300年祭特別展「倉津八へのうたにのせて」～奈良の古寺と仏像～	11/20 (土)～12/19 (日)	奈良県立美術館
	平山郁夫追悼展示／小沢道治展	11/20 (土)～12/23 (木)	和歌山県立近代美術館
	開館10周年記念特別展「堺発 与謝野晶子 ～堺市所蔵初公開資料を中心に～」	11/20 (土)～2011年3/21 (月・祝)	堺市立文化館 与謝野晶子文芸館
	アルフォンス・ミュシャ生誕150年記念 知られざる制作の秘密展	11/20 (土)～2011年3/21 (月・祝)	アルフォンス・ミュシャ館
	京都市交響楽団 第541回定期演奏会	11/27 (土)	京都コンサートホール 大ホール
	ウフィツィ美術館 自画像展 巨匠たちの「秘めた素顔」	11/27 (土)～2011年2/20 (日)	国立国際美術館
	第21回京都市立芸術大学留学生展	12/1 (水)～12/7 (火)	京都芸術センター
九州	特別展「誕生！中国文明」	10/5 (火)～11/28 (日)	九州国立博物館
	第10回 大分アジア彫刻展	10/9 (土)～11/21 (日)	朝倉文夫記念文化ホール 他
	企画展「いにしへの佐賀風景」展	10/15 (金)～11/23 (火・祝)	佐賀城本丸歴史館
	鍋島緞通吉島家創業100周年記念 中国故宫博物院の緞通と日本の緞通展	10/16 (土)～11/28 (日)	佐賀県立美術館
テーマ展 唐津・東松浦の歴史と文化 I	12/3 (金)～2011年1/23 (日)	名護屋城博物館	

Applications to attend the meetings are available online at:  
<http://www.bunka.go.jp/culturalforum/english/>

Deadlines for application:  
11 Nov. for the Fukuoka Session.  
15 Nov. for the Tokyo Session & Nara Session.

Inquiries

**WORLD CULTURE FORUM 2010, Secretariat**  
NR BLDG, 5-5 Kamiya-cho, Shibuya-ku, Tokyo 150-0047, JAPAN  
TEL: +81-(0)3-5790-0888  
FAX: +81-(0)3-5790-0308

※The Program may be subject to change